

# 一般社団法人日本解剖学会 2021(令和3)年度第2回理事会議事録

日 時：2021(令和3)年3月27日(土) 13:00~14:30

場 所：一般財団法人口腔保健協会(302会議室)

出席者：八木沼 洋行(理事長)、渡辺 雅彦、西 真弓、野田 泰子、牛木 辰男(以上、常務理事)、天野 修、大塚 愛二、岡部 繁男、尾崎 紀之、小澤 一史、城戸 瑞穂、小路 武彦、佐藤 真、篠田 晃、福田 孝一、藤山 文乃、堀 修、八木 秀司(以上、理事)、木山 博資、藤本 豊士(以上、監事)、阪上 洋行、竹林 浩秀、松崎 利行(以上、常任幹事)、中村 聡(口腔保健協会)

陪席者：市村 浩一郎、大野 伸彦(以上、次期常任幹事予定者)

欠席者：千田 隆夫 理事

## I. 理事長挨拶

八木沼理事長より挨拶があった。

## II. 議事録署名人の確認

定款第39条の規定により、木山監事、藤本監事を議事録署名人として選出した。

## III. 会議記録の確認

以下の議事録の確認がされた。

(1) 2021(令和3)年度第1回理事会(令和3年1月24日開催)議事録(案)

## IV. 報告事項

### 1. 庶務報告

(1) 年会費納入状況について(長期未納者の除名について)

資料に基づき、年会費未納者について、3年未納者は3月31日まで未納の場合は除名となり、2年未納者は雑誌発送が停止されていることが報告された。所属、支部で未納者への声掛けをおこなうこととした。

(2) 教授就任による代議員承認について

資料に基づき、以下の1名の代議員申請があり、常務理事会で承認されたことが報告された。  
芝田 晋介 氏(新潟大学 大学院医歯学研究科 組織学分野 医学部 顕微解剖学)

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会 第19期 第2回運営委員会の報告があった。男女共同参画推進委員会から参加した藤山理事より追加で以下の説明があった。1) 第126回総会・全国学術集会(生理学会との合同大会)で特別講演と交流会を男女共同参画学協会後援として実施することを報告した、2) 大規模アンケートが2021年10月ころ実施される予定、3) 男女共同参画学協会連絡会のホームページに無意識のバイアスのコンテンツを作っているのが積極的に利用してほしい。

(4) 東京医科歯科大学難治疾患研究所「難治疾患共同研究拠点」への要望書対応について

資料に基づき、八木沼理事長名で東京医科歯科大学難治疾患研究所長宛て、東京医科歯科大学難治疾患研究所「難治疾患共同研究拠点」への要望書を送付したことが報告された。

(5) その他

特になし。

### 2. 編集報告

(1) ASI電子ジャーナル閲覧方法の変更について

資料に基づき、ASIバックナンバー閲覧方法が本年3月より、従来のToken方式からリファラー認証方式へ変更されたこと、閲覧のための会員専用ページへのアクセスに必要なIDとパスワードをASI 96巻(2)の発送時に同封し会員にお知らせしたこと(ただし、IDとパスワードが毎年3月頃に変更されたため注意が必要であること)が報告された。

(2) ICD-11対応について

資料に基づき、国際統計分類の第11回改訂版(ICS-11)の和訳作業に伴い、解剖学会が翻訳などを担当する解剖学専門領域に該当または関連する用語(約4000語程度)の範囲についての厚生労働省国際分類情報管理室からの確認の依頼に対して、旧用語委員会(坂井委員長)で対応したこと、今後は新用語委員会に対応し

てもらうことが報告された。

- (3) その他  
特になし。

### 3. 企画・渉外報告

- (1) 2021(令和3)年度第126回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、木山会頭より、3月18日時点での登録者数(1700名程度)、演題数(1039演題)、会計予算などの準備状況について報告された。

- (2) 2022(令和4)年度第127回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、佐藤次期会頭より、大会テーマ(「命の基を観解く」)、大会期間(2022年3月27日～29日)、開催会場・方法(大阪大学箕面新キャンパス・箕面市立文化芸能劇場とWeb配信のハイブリット開催)、プログラム委員会などの準備状況が報告された。なお、Web配信のハイブリット開催であるが、特に若手研究者の口演とポスター発表については、若手研究者間の交流や人脈を広げるために可能な限り対面形式で実施を検討していることが説明された。

- (3) 認定二級技術者審査結果について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会からの認定二級技術者についての審査結果(合格者2名)が報告された。

- (4) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、日本医学会連合加盟学会連絡協議会(2021年2月10日オンライン開催、渡辺常務理事参加)、第88回日本医学会定例評議員会(2021年2月26日オンライン開催、西常務理事参加)、日本医学会2020年度臨時社員総会(2021年2月26日オンライン開催、西常務理事参加)の議事内容が報告された。

- (5) 生物科学学会連合報告

特に報告事項なし。

- (6) 日本脳科学関連学会連合報告

特に報告事項なし。

- (7) 「若手研究者の会」報告

資料に基づき、本全国学術集会で開催予定のプレミアムセミナー(解剖学の魅力を語る)、日本生理学会若手の会との合同シンポジウム、若手研究者の会の総会の内容とともに、若手研究者の会のロゴ案の投票が行われたことが報告された。

- (8) その他

特になし。

### 3. 会計報告

- (1) 2021(令和3)年度中間決算について

資料に基づき、2021(令和3)年度2月次中間決算書(2021年1月1日から2月28日)の内容について報告された。

- (2) ホームページ「解剖ひろば」運用について

資料に基づき、査読の結果、掲載見送りを行った論文が1件あったことが報告された。また、過去の和文誌より、「解剖学用語(ラテン語)について(講座)」(1986)、「明治後期の解剖学教育—魯迅と藤野先生の周辺」(2007)を掲載する予定であることが報告された。ホームページ掲載にあたり、html方式で掲載することとなった。

- (3) その他

特になし。

## V. 審議事項

- 1 2020(令和2)年度決算および業務監査報告の件(庶務・会計)

資料に基づき、監事による会計および業務実施状況に関する監査報告書の結果が説明され、健全な会計状況と適切な事業運営であると判断されたことが報告された。なお、監事から以下の提言をいただいたことが報告

された。

- ・コロナ収束後を見据えて理事会や各種委員会のオンライン開催の継続を検討すること。
- ・特別事業積立資産の支出について有効活用されるよう申合せの見直しを含めて検討すること。

2 2021(令和3)年度予算および事業計画の件(理事長・会計)

資料に基づき、令和3年度予算および事業計画内容が説明され、審議の結果、承認された。令和3年度は、名簿作成を行うことが確認された。

3 2021(令和3)年度定時社員総会資料と議長の確認(庶務)

資料に基づき、令和3年度定時社員総会資料と議長が確認され、審議の結果、了承された。

4 死体解剖資格取得申請に関する問題提起について(編集)

資料に基づき、死体解剖資格申請に関する解剖学会としての指針について、若干の修正を行うことについて説明され、審議の結果、承認された。

5 解剖学雑誌の複製許諾業務委託について(編集)

資料に基づき、転載許諾業務委託について審議を行い、審議を継続することとなった。

6 2023(令和5)年度総会・全国学術集会開催校について(理事長)

資料に基づき、令和5年度総会・全国学術集会開催校について高山千利氏(琉球大学)より開催の申し出があったことが報告され、審議の結果、了承された。

7 技術職員の処遇に関する要望書対応について(理事長)

資料に基づき、技術職員の処遇に関する要望書の修正について報告され、審議の結果、関係諸機関に提出することが承認された。一般社団法人日本医学会連合にも要望を提出することが提案され、承認された。

8 その他

特になし。